

七色の大輪 夜空に映え



北國花火金沢大会

光と音の競演が「おとこ川」を包み、県都の夜空を染めた。25日の北國花火金沢大会では、豪快な連発花火や多彩な仕掛け花火が繰り広げられ、浴衣姿の家族連れやカップルらが感動に酔いしれた。

会場では、万華鏡を思わせる打ち上げ花火や色とりどりのスターメイン、白山をイメージした仕掛け花火などが次々と披露され、光の芸術が描かれた。クライマックスの「おとこ川市民花火」では、3号5号玉を組み合わせた迫力の1千連発が打ち上げられ、観客からは「きれいな」「すごい」とため息が漏れた。

「おとこ川」の協賛者向けに観覧席が設けられ、テーブル席などでゆっくりと鑑賞する姿も見られた。今年初めてペーシアートで鑑賞した金沢市の主婦中川原奈緒美さん(49)は「すごい花火が近くて、いっそう感動した」と声を弾ませた。野々市町の会社員川井武明さん(39)は「このような町中での花火は珍しい。迫力があり、これぞ石川の夏という感じがする」と満足げに話した。

「おとこ川」水面彩る

ときめきQで中継した北國花火金沢大会の模様は、金沢ケーブルテレビネット(金沢市)が「ときめきQ」で終了まで生中継した。



花火の美 楽しみ心癒やす ヒーリングタイム



花火を楽しむ参加者
＝北國新聞会館21階「北斗」

特別講座「佐藤植花のヒーリングタイム」は25日、北國花火金沢大会に合わせ北國新聞会館21階「北斗」で開かれ、約80人が夜空に咲く光の大輪に目を見張った。



ホリスティック健康科学研究所代表の佐藤さんが講師を務め、「プラス思考は脳を活性化させる」と解説。参加者は栄養バランスのとれた特製弁当を食べて会話を弾ませ、花火の美しさと響きに身も心も癒やした。



大勢の人を埋め尽くされた会場。多彩な仕掛け花火に歓声と拍手が沸き起こった。



ベッド席初登場

「おとこ川市民花火」の協賛者観覧席に今年初めて設けられたサマーベッド席では、おおむねになった観客がリラックスした様子で夜空を見上げた。光が天か

新設されたサマーベッド席でくつろぐ観客

ら降り注ぐような迫力たっぷりの風景が味わえ、花火の新しい楽しみ方を提案した。